

ぴっくす

まちの話題



『大丸校区で3世代交流稲刈り体験などを実施』

大丸公民分館（坂元正春分館長）は、7月2日、かかし祭りの一環として3世代交流稲刈り体験などを実施しました。

この日、参加した大丸小の子ども達は、慣れない手つきでカマを使いながら稲を刈り、また、バインダーやコンバインなども操作して刈りましたが、参加した子ども達のほとんどが、稲刈りは初めてということもあり、カマとコンバインの刈る速さの違いに驚いていました。

また、7月21日には持留川の横瀬橋付近で、大丸校区内の子ども達など約30人が鯉の稚魚約2,500尾を放流しました。大丸公民分館では、この日のためにクリーン作戦を実施し、横瀬橋付近は見違えるほどにきれいになっていました。

さらに、7月31日には横瀬の三本松とあすばる大崎前の2か所の交差点で交通安全キャンペーンを実施し、13人の交通安全少年リーダーによる新米の配布が行われました。

子ども達は、運転手一人ひとりに「気をつけて運転してください。」と、呼びかけました。



『ボランティア清掃で汗を流す』

7月14日、くいの松原、菱田海岸、野方の照日神社でそれぞれボランティア清掃が実施されました。

くいの松原一帯は、おおさきルネサンス、南九州大崎ロータリークラブが、菱田海岸は、曾於地域農業農村整備事業推進協議会などが、野方の照日神社は荒佐野親和会、野心会がそれぞれ主催して行われましたが、当日は、3か所いずれも、多くの参加者が集い、草払いやごみ拾いをし、汗を流しました。

また、野方の照日神社では、ボランティア作業のあと、野心会によるニジマスのつかみ取りも行われ、子ども達は楽しそうにニジマスをつかまえていました。



『いもがらに花が咲きました』

山村の仮水シツエさん（87歳）宅で、いもがらの花が咲きました。

仮水さん宅では、去年、食用にいもがらを植えて、今年の七夕の日に料理に使おうといもがらを見てみると、なんと6本の茎にそれぞれ花が咲いていました。

いもがらに花が咲くのは大変めずらしいようで、仮水さんもこの出来事に多いに喜んでいらっしゃいます。

